

# HILTI

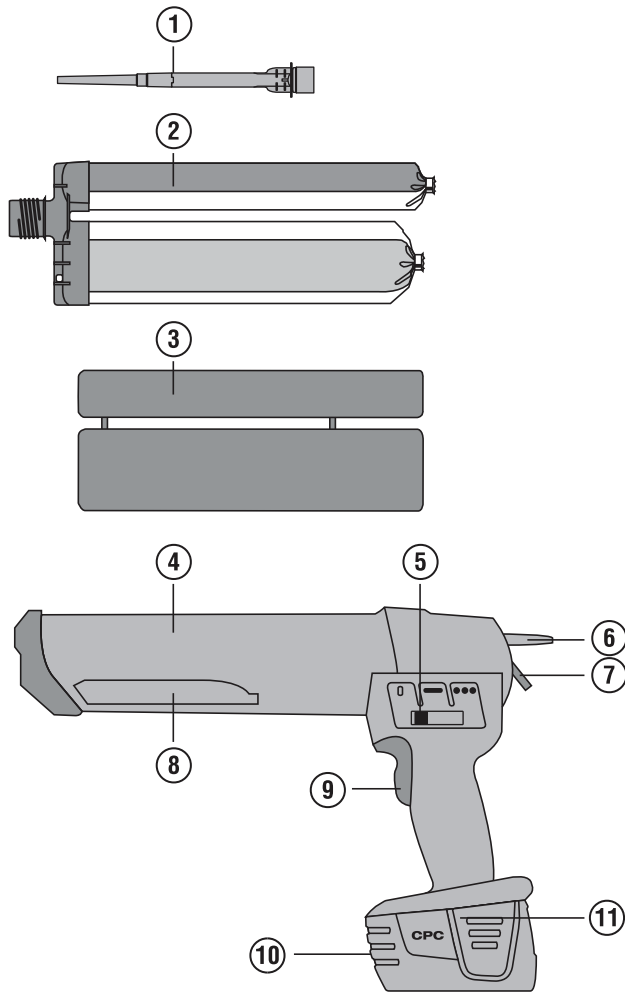
## HIT-ED 3500-A

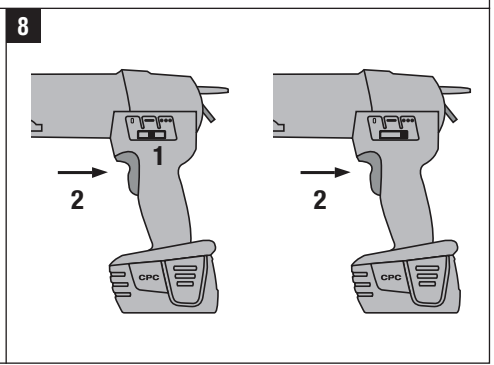
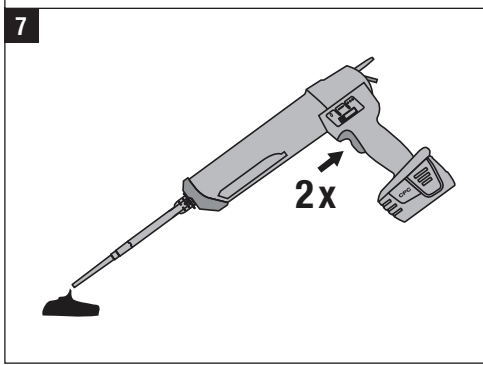
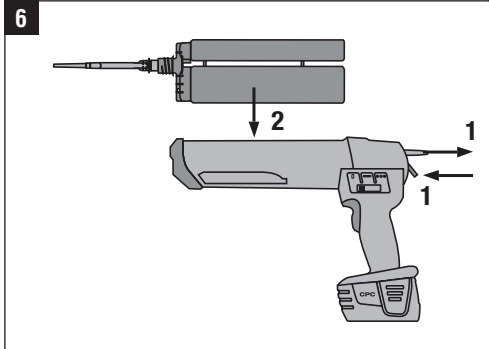
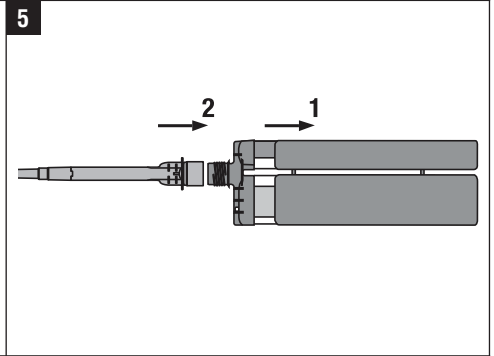
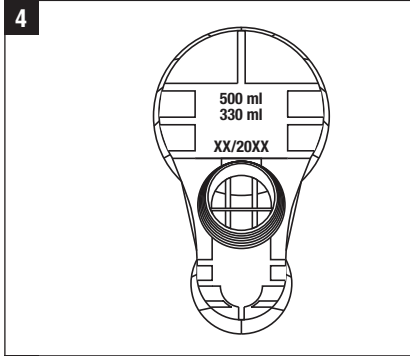
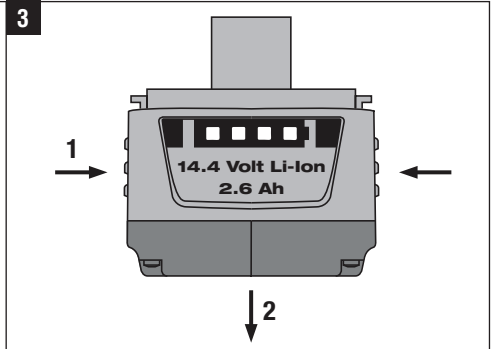
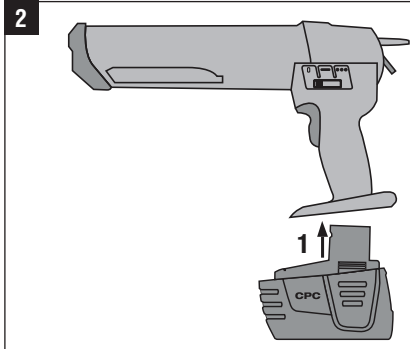


取扱説明書

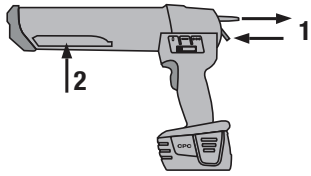
ja



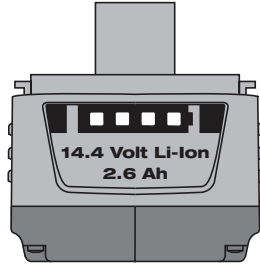




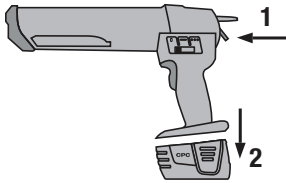
9



10



11



# オリジナル取扱説明書

## ED 3500-A デispensサー

ja

**ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。**

**この取扱説明書は必ず本体と一緒に保管してください。**

**他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。**

目次	頁
1. 一般的な注意	1
2. 製品の説明	2
3. アクセサリー	3
4. 製品仕様	3
5. 安全上の注意	4
6. ご使用前に	7
7. ご使用方法	7
8. 手入れと保守	9
9. 故障かな? と考えた時	10
10. 廃棄	11
11. 本体に関するメーカー保証	12
12. EU規格の準拠証明	12

**■** この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

この取扱説明書で「本体」と呼ばれる工具は、常に ED 3500-A 充電式デispensサーを指しています。

### 各部名称、操作部 / 表示部名称 **■**

- ① ヒルティフオイルパック用ミキシングノズル (該当する取扱説明書を参照)
- ② ヒルティフオイルパック
- ③ 一体型ピストン付きホルダー
- ④ フォイルバックホルダー用の耐衝撃性および金属強化型プラスチックトレイ
- ⑤ 切替スイッチ (オフ位置、連続吐出、1回吐出)
- ⑥ 2連フィードロッド (ロッドを引き戻すためのプラスチックグリップ付き)
- ⑦ リリースボタン
- ⑧ ホルダー取り出し用開口部
- ⑨ 樹脂の吐出と配分用スイッチ
- ⑩ Li-Ion バッテリーパック
- ⑪ 追加機能 (充電状態インジケーター作動) 付きバッテリーパックリリースボタン

## 1. 一般的な注意

### 1.1 安全に関する表示とその意味

#### 危険

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

#### 警告事項

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

#### 注意

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

### 注意事項

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

### 1.2 記号の説明と注意事項

#### 警告表示



一般警告  
事項



電気に関する  
警告事項



腐食に関する  
警告事項

## 義務表示



保護メガネ  
を着用して  
ください



保護手袋  
を着用して  
ください



保護服を着  
用してくだ  
さい

ja

## 略号



ご使用前に  
取扱説明書  
をお読みく  
ださい



リサイクル  
規制部品  
です



オフ位置



連続吐出



1 回吐出

## 機種名・製造番号の表示箇所

機種名および製造番号は本体の銘板に表示されています。当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名：

製品世代：01

製造番号：

## 2. 製品の説明

### 2.1 正しい使用

充電式ディスペンサー ED 3500-A はヒルティフオイルパック（内容量 330 ml または 500 ml）用としてのみ使用できます。本体はヒルティフオイルパックから樹脂を吐出する目的に使用します。本体にはヒルティフオイルパックを取り付けるためのホルダーが付属しています。他社製フオイルパックを本体に取り付けることは許可されません。

本体はブ口仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

本体の先端部を、決して自分や周囲の人に向けてください。

本バッテリーパックを他の電気器具の電源用に使用しないでください。

本体の加工や改造は許されません。

けがの可能性を防ぐため、必ずヒルティ純正の、アクセサリや先端工具のみを使用してください。

取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。

作業区域としては、建設現場、工場での改修・改築・新築工事などが考えられます。

各国の労働安全衛生法に従ってください。

### 2.2 本体の作動に必要な追加品目

バッテリーパック B 144/2.6 Li-Ion ( 充電器 C 4/36 または C 4/36-ACS 付き ) 1 個

### 2.3 バッテリーパックの充電状態および過熱インジケータ

LED 点灯	LED 点滅	充電状態 C
LED 1、2、3、4	-	$C \geq 75\%$
LED 1、2、3	-	$50\% \leq C < 75\%$

LED 点灯	LED 点滅	充電状態 C
LED 1、2	-	$25 \% \leq C < 50 \%$
LED 1	-	$10 \% \leq C < 25 \%$
-	LED 1	$C < 10 \%$
-	LED 1	バッテリーパックの過熱

## 2.4 本体標準セット構成

- 1 本体
- ≥ 1 ブラシ
- 1 保護メガネ
- 1 本体ケースまたはカートン梱包
- 1-2 フォイルパック用カセット
- 1 取扱説明書

## 3. アクセサリー

名称	略号
バッテリーパック	B 144/2.6 Li-Ion
充電器	C 4/36 または C 4/36-ACS

## 4. 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

### 本体

重量 (バッテリーパックを含む)	2.55 kg
切替スイッチ	オフ位置、連続吐出、1 回吐出の切替
モーター停止	電気過負荷保護機構による

### 騒音について ( EN 60745 に準拠 ):

サウンドパワーレベル	74 dB (A)
サウンドプレッシャーレベル	63 dB (A)
定格騒音レベルに対する不確実性	3 dB (A)

### 注意事項

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください

(例：電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)	< 2.5 m/s <sup>2</sup>
不確実性 (K)	1.5 m/s <sup>2</sup>

ja

<b>バッテリーパック</b>	<b>B 144/2.6 Li-Ion</b>
電圧	14.4 V
容量	2.6 Ah
バッテリー容量	37.44 Wh
重量	0.55 kg
温度モニター	付き
過放電保護	付き
セルの種類	リチウムイオン
セルブロック数	4 個

## 5. 安全上の注意

5.1 に記載された安全上の注意事項は、電動工具に関する全ての基本的な安全情報を含んでおり、準拠する規格に応じた注意事項がこの取扱説明書に記載されています。したがって、この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

### 5.1 電動工具の一般安全注意事項

a) **警告事項！安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。**安全上の注意および指示事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

#### 5.1.1 作業環境に関する安全

a) 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。  
 b) 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。  
 c) 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に

気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

#### 5.1.2 電気に関する安全注意事項

a) 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。  
 b) パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。  
 c) 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。  
 d) 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持って引っぱり張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。  
 e) 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専



用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

- f) 濡った場所で電動工具を 작동させる必要がある場合は、漏電遮断機を使用してください。漏電遮断機を使用すると、感電の危険が小さくなります。

### 5.1.3 作業者に関する安全

- a) 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- b) 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。
- c) 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- d) 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- e) 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- f) 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- g) 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

### 5.1.4 電動工具の使用および取扱い

- a) 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、能率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- b) スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- c) 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- d) 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- e) 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- f) 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- g) 電動工具、アクセサリー、先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

### 5.1.5 バッテリーの使用および取扱い

- a) バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- b) 指定されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。指定以外のバッテ

リーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。

- c) 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- d) バッテリーが正常でないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。液体が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

### 5.1.6 サービス

- a) 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

## 5.2 その他の安全上の注意

### 5.2.1 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- a) バッテリーを装着する前に、本体のスイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチがオンになっている電動工具にバッテリーを装着すると、事故が発生する恐れがあります。
- b) バッテリーパックは高温と火気を避けて保管してください。爆発の恐れがあります。
- c) バッテリーパックを分解したり、挟んだり、80℃以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。これを守らないと、火災、爆発、腐食の危険があります。
- d) 湿気が入らないようにしてください。水が浸入すると、短絡を引き起こしたり、火傷や火災が発生する可能性があります。
- e) 必ず本体用に許可されたバッテリーパックを使用してください。その他のバッテ

リーパックを使用したり、他の目的でバッテリーパックを使用すると、火災や爆発の危険があります。

- f) Li-Ion バッテリーパックの搬送、保管、作動には特別規定を守ってください。
- g) バッテリーパックの短絡は避けてください。バッテリーパックを装着する前に、バッテリーの電気接点と本体内部に異物が入っていないか確認してください。バッテリーパックの電気接点間が短絡すると、火災や爆発、腐食の恐れがあります。
- h) 損傷したバッテリーパック（例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点が曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリーパック）の充電や使用はしないでください。
- i) 埋設された電線または電源コードが先端工具で損傷する恐れがある場合は、本体の絶縁されたグリップを保持して作業してください。電流の流れている電線に触れると、本体の絶縁されていない金属部分が通電され、作業者が感電する危険があります。

### 5.2.2 作業場の安全確保

- a) 作業場の換気に十分配慮してください。
- b) 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- c) 本体は、身体、知覚、精神的な障害のある方（子供を含む）あるいは本体に関する経験や知識のない方がお使いになるには適しません。ただし、安全面を管理する監督者が立ち会う場合、あるいはその監督者より本体の使用について説明がなされた場合を除きます。

### 5.2.3 個人保護用具



本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護服、保護メガネ、保護手袋を着用しなければなりません。

## 6. ご使用前に



### 6.1 バッテリーパックの慎重な取扱い

#### 注意事項

満充電されているバッテリーパックでのみ作業してください。そうすれば、バッテリーパックの容量を最大限利用できます。予備のバッテリーと交換してください。効率が落ちたバッテリーパックは、交換後速やかに充電してください。

低温ではバッテリーパックの力が低下します。最適な作業成果を得るには、常に室温から作業を開始することを推奨します。外気温度が低い場合は、バッテリーパックを常に作動温度に保ってください。

### 6.2 バッテリーパックの充電



#### 危険

必ず指定されたヒルティバッテリーパックと、「アクセサリ」の項に記載のヒルティ充電器を使用してください。

#### 6.2.1 バッテリーパックの初充電

はじめてお使いになる前にはバッテリーパックをフル充電してください。

#### 6.2.2 使用されたバッテリーパックの充電

バッテリーパックを充電器にセットする前に、バッテリーパックの表面の汚れを落とし、乾かしてください。

充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

Li-Ion バッテリーパックは、部分的にしか充電されていない状態であっても常に挿入することができます。充電の進行状況は LED で表示されます ( 充電器の取扱説明書を参照 ) 。

### 6.3 バッテリーパックの装着

#### 注意

バッテリーパックを装着する前に、切替スイッチがオフ位置になっていることを確認してください。必ず本体用に許可されたヒルティバッテリーパックを使用してください。

#### 注意

バッテリーパックを装着する前に、バッテリーパックの電気接点と本体内部に異物が入っていないか確認してください。

1. バッテリーパックを本体の下部にあてがいつながら、カチッと音がするまで挿入します。
2. **注意** バッテリーパックが落下して怪我をする恐れがあります。バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。

### 6.4 バッテリーパックの取り外し

1. 両側のリリースボタンを押します。
2. バッテリーパックを本体から下方へ引き抜きます。

## 7. ご使用方法



### 7.1 手入れに関する注意事項

#### 危険

各フォイルパックの取扱説明書に記載された注意事項と化成品の安全データシートの規定を守ってください。

操作スイッチが押されて切替スイッチが 1 回吐出または連発吐出の位置にあると、本体は作動状態となります。搬送や保管の際にはバッテリーパックの放電や樹脂の流出を防止するため、操作スイッチを押した状態にしないでください。また切替スイッチをオフ位置にしてください。

ヒルティ純正品を使用することで、最大限の安全が保証されます。本体、ホルダー、フォイルパックは互いに適合化されています。

高い吐出能力や十分なバッテリー容量を維持し本体の寿命を長く保つには、装置の慎重な取扱いと正しい手入れや保守が不可欠です。**重要！** 負荷がかかりすぎるとモーターがオフになります。リリースボタンを押して本体の負荷を軽減します。5秒後に本体は使用可能状態になります。

## 7.2 フォイルパックの準備 4 5

### 注意

フォイルパックのジョイント部に記されている使用期限を点検してください。期限切れの製品は使用しないでください。

### 注意

ホルダーに損傷や汚れがないか点検してください。2本のピストンは、ホルダー内で円滑に動き、前後いっぱいまで移動できなければなりません。損傷したホルダーや汚れの激しいホルダーは交換する必要があります。

### 危険

フォイルパックに損傷がないか点検してください。損傷したフォイルパックは決して使用しないでください。

### 注意

フォイルパックを使用するときの温度は、製品の各取扱説明書に記載された最低温度を下回ってはなりません。

1. フォイルパックを手前からホルダーに一杯まで押し込みます。
2. ミキシングノズルをフォイルパックに完全にねじ込みます。

## 7.3 フォイルパックを装着したホルダーの取り付け 6

### 注意事項

ホルダーはアクセサリーとして提供されています。

1. リリースボタンを押しながら、フィードロッドを完全に引き戻します。
2. ホルダーの小さい方の円筒をつかんで、ホルダーを上から本体に挿入し、横に回転させて装着します。

3. **重要！** ホルダーは完全に挿入してください。取り付けが正しいことを確認するために、ホルダーを軽く下に押してください。

## 7.4 吐出 7 8

### 危険

本体の先端部を、決して自分や周囲の人に向けないでください。

### 注意

最初にミキシングノズルから吐出される樹脂はファスニングには適しませんので捨ててください。捨てる量は製品仕様により異なり、それぞれの取扱説明書に記載されています。同様にミキシングノズルを交換した際にも、最初に吐出される樹脂は使わないでください。

### 注意事項

最初に吐出される樹脂（ミキシングノズルから出てくる量）は捨てる必要があるため、本体は1回吐出にセットしてください。

**注意！** 1回吐出モードの場合は、本体がオフになるまでスイッチを押した状態に保ちます。これで1回分の吐出が完全に行われます。

1. 続けて吐出を行うには、スイッチを1回吐出または連続吐出にセットします。
2. 樹脂の吐出と配分用スイッチを押します。ジョイント部に内蔵された閉鎖システムによりフォイルパックが自動的に開封されます。ミキシングノズル部分で2液が混合されるのが確認できます。
3. 吐出を中止する場合は、リリースボタンを押してください。フォイルパックにかかる圧力が解除され、ミキシングノズルから樹脂が吐出されなくなります。未使用の期間が長いと、ミキシングノズル内の樹脂は硬化します。
4. フォイルパックを再使用するには、ミキシングノズルを交換する必要があります。
5. 使用に関する詳しい作業手順は、フォイルパックの取扱説明書をご覧ください。

## 7.5 フォイルパックの取り外し ㉑

### 注意事項

使用済みのフォイルパックは、ホルダーにミキシングノズルをねじ込んだ状態で保管してください。使用済みのフォイルパックは限られた期間内でのみ保管可能です。フォイルパックの取扱説明書を参照してください。

### 注意事項

ホルダーはアクセサリとして提供されています。

1. リリースボタンを押しながら、フィードロッドを完全に引き戻します。
2. まず小さい方の円筒をグリップ開口部から上に押し出し、続けてホルダー全体を取り出します。

## 7.6 フォイルパックの廃棄

### 注意

空になったフォイルパックは、所定の法規に従って廃棄してください。

ホルダーは再使用できます。内蔵の圧力ピストンは、新しいフォイルパックを挿入するとスタート位置に戻ります。

## 7.7 Li-Ion バッテリーパックの充電状態表示の読み取り ㉒

### 注意事項

作業中は充電状態の読み取りは行えません。LED 1 の点滅によってのみ、バッテリーパックが完全に放電しているか、あるいは高温になりすぎているか (> 80 °C) が示されます。この場合は、バッテリーパックを充電器にセットしてください。

Li-Ion バッテリーパックは充電状態表示を行うことができます。充電中は、バッテリーパックのインジケーターで充電状態が示されます (充電器の取扱説明書を参照)。停止状態のときにバッテリーパックのロックボタンを押す、あるいはバッテリーパックを本体にセットすると、充電状態が 4 個の LED で 3 秒間示されます。

## 7.8 搬送および保管 ㉓

1. 本体の搬送と保管の際には切替スイッチをオフ位置にします。
2. 本体を搬送または保管する際にはバッテリーパックを取り外します。

# 8. 手入れと保守

### 注意

本体が不意に始動することがないように、清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

## 8.1 本体の手入れ

### 注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。

電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

フィードロッドには定期的にオイルを塗ってください。本体およびホルダーに付着した樹脂は、硬化する前にできるだけ早くウエスで取り除いてください。硬化した樹脂は、機械を使用してのみ取り除くことができます。その際は、損傷しないように注意してください。ホルダーのピストンは円滑に動く状態に保ってください。

## 8.2 Li-Ion バッテリーパックの手入れ

湿気が入らないようにしてください。

はじめてお使いになる前にはバッテリーパックをフル充電してください。



バッテリーパックを最大寿命で使用できるように、本体のパワーが著しく低下したら直ちに使用または放電を中止してください。

#### 注意事項

本体をさらに使用し続けると、セルの損傷に至る前に放電が自動的に止まり、バッテリーパックのLED 1 が点滅します。

バッテリーパックは Li-Ion バッテリーパック用に許可されたヒルティ充電器で充電してください。

#### 注意事項

- NiCd または NiMH の場合のようなバッテリーパックのコンディショニングは必要ありません。

- 充電を中断しても、バッテリーパックの寿命に影響はありません。

- バッテリーの充電は、充電状態に関係なく、また寿命を考慮することなく、いつでも開始することができます。NiCd または NiMH の場合のようなメモリー効果はありません。

- バッテリーパックはフル充電した状態でできるだけ涼しくて乾燥した場所に保管するのが最適です。周囲温度が高い場所（窓際）にバッテリーパックを保管すると、バッテリー

パックの寿命に影響が出て、セルの自己放電率が上昇します。

- バッテリーパックが完全に充電できなくなった場合は、劣化や過負荷で容量が低下しています。このバッテリーパックで作業を続けることはまだ可能ですが、適当な時期にバッテリーパックを新品と交換してください。

### 8.3 保守

#### 警告事項

本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

本体の全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

### 8.4 手入れと保守を行った後の点検

手入れや保守を行った後は、本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、部品に破損や損傷がないか、本体が正常に作動するかを確認してください。

## 9. 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が作動しない。	バッテリーパックが正しくロックされていないか、あるいはバッテリーパックの放電。	バッテリーパックをカチッとロック音がするまで挿入するか、あるいはバッテリーパックを充電する。
	電氣的故障。	本体からバッテリーパックを取り外し、ヒルティサービスセンターに連絡する。
本体が作動せず、LED が 4 つすべて点滅する。	本体に短期的に過負荷がかかっている。	スイッチを放して、押し直す。
	過熱保護が作動した。	本体を冷やす。
本体が作動せず、LED 1 が点滅する。	バッテリーパックの放電。	バッテリーパックを交換し、空のバッテリーパックを充電する。
	バッテリーパックの温度が高すぎる、または低すぎる。	バッテリーパックを室温まで冷やす / 暖める。
バッテリーパックの消耗が通常よりも早い。	バッテリーパックの状態が好ましくない。	ヒルティで診断するか、またはバッテリーパックを交換する。

症状	考えられる原因	処置
バッテリーパックが「カチツ」と音がするまでロックされない。	バッテリーパックのロックノッチが汚れている。	ロックノッチを清掃して、バッテリーパックをロックする。問題が再発する場合は、ヒルティサービスセンターに連絡する。
本体あるいはバッテリーパックが熱くなる。	電氣的故障。	本体の電源を直ぐに切ってバッテリーパックを取り外し、ヒルティサービスセンターに連絡する。
	本体に負荷がかかり過ぎている (適用基準を超えている)。	用途に合った工具を選択する。
1 回吐出が作動しない。	フォイルパックがセットされていない。	フォイルパックをセットする。
	フォイルパックが正しくセットされていない。	フォイルパックを正しくセットする。 以下の章を参照してください： 7.2 フォイルパックの準備 <b>4 5</b> 以下の章を参照してください： 7.3 フォイルパックを装着したホルダーの取り付け <b>6</b>
本体が自動的にオフになる。	過負荷保護機構 (スピードレギュレーター) が作動している。	5 秒間待ってから、もう一度オンにする。 ミキシングノズルで樹脂が硬化していないか点検し、必要に応じて交換する。 問題が再発する場合は、ヒルティサービスセンターに連絡する。

## 10. 廃棄

### 注意

装備を誤った方法で廃棄すると、次のような危険があります：プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

### 注意

故障したバッテリーパックはただちに廃棄してください。バッテリーパックは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーパックを分解したり、燃やしたりしないでください。

### 注意

バッテリーは、各国の規制に従って廃棄してください。



ja

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。



EU 諸国のみ

電動工具を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準 2002/96/EG および 2006/66/EG と各国の法律に基づき、使用済みの電気工具およびバッテリーパックは一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

## 11. 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正の、消耗品、付属品、修理部品のみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、本体のライフタイム期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、拘束力のある国内規則がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一

切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

## 12. EU 規格の準拠証明

名称：	ディスプレイ
機種名：	ED 3500-A
設計年：	2008

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：2004/108/EG、2006/66/EG、EN 60745-1、EN 61000-6-3、EN 55014-1、EN 55014-2、2009年12月28日まで98/37/EG、2009年12月29日以降2006/42/EG。

Hilti Corporation

Rainer Hüttenberger  
Senior Vice President  
Business Unit Anchor  
10 2008

Dr. Michael Leitner  
Head of Development Anchor  
Business Unit Anchor  
10 2008





**Hilti Corporation**

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

[www.hilti.com](http://www.hilti.com)



360404